

平成 27 年度第 4・5・6 回 こどもチーム会議 (H27.12.4/12.8/H28.1.5)  
報告

引き続き、こども発達支援室について検討を行い、最終的な伊勢市こども発達支援室についての本会への提案内容をまとめました。

## 1. こども発達支援室

名張市への視察に備えて質問事項等の最終確認をチーム会議 (12/4) にて行い、名張市こども発達支援センターへの視察 (12/8) を行って、その結果を踏まえてチーム会議 (1/5) にて検討を行い、これまでの市民との意見交換会で聞かせて頂いた途切れない支援等に対する悲痛な声も踏まえ、また各課発達支援に関する現状の取組等も踏まえ、最終的な伊勢市こども発達支援室についてのこどもチームから本会への提案内容を、以下のようにまとめました。

「こども発達支援室の設置、およびその機能等についての提案」

### 【伊勢市のこども発達支援に関する現状】

現在各課各機関でさまざまな事業や取組みを実施頂いてはいるが、早期支援から途切れない支援等を進展させるために、さらに「市役所各課・各機関・各分野を超えた総合的・一体的・継続的な機能を有する中心的行政組織」が必要である。

### 【こども発達支援室の設置、および必要とされる機能】

上記現状を踏まえ、以下のような機能を有するこども発達支援室の設置が必要と考える。

- ・ 特別支援保育・教育の充実化機能：  
特別支援保育・教育等を充実化させるための幼保・教育と他分野を含めた各関係機関との調整・連携促進機能 (就学移行支援、CLM 等々)、および重層的支援や階層別支援の実現に向けた人材や機関等の育成機能 (1 次支援:学校等現場での支援、2 次支援:教育分野チーフコーディネーター等を含めた支援、3 次支援:こども発達支援室を含めたさらなる専門的支援) 等
- ・ ワンストップ相談支援機能：障がいを持つこどもに関する各分野の総合相談支援窓口 等
- ・ 支援情報の引継ぎ機能：必要な支援を各年代・各分野・各機関を超え継続させる調整・取組み、個人ファイル継続整備 等
- ・ アウトリーチ機能：支援の必要なこども・家族を把握しに出かけ、支援のつなぎ継続を図る 等
- ・ コーディネート機能：各関係機関の連携促進のための取組み・仕組みづくり、各課との密な連携会議、ケース会議・同行支援 等
- ・ 療育との連携促進機能：各関係機関と療育との適切な連携を図る為のつなぎ・調整・共有 等
- ・ 保護者支援機能：障がい受容への寄り添い支援、ペアレントトレーニング 等
- ・ 早期発見 (アセスメント) 機能：5 歳健診の追加実施およびその後の教室や医療、関係機関等との連携による支援が必要なこどもの早期発見
- ・ 早期支援機能：健診後教室の充実化、および以降の必要な支援への繋ぎ調整 等
- ・ 医療との連携機能：小児発達外来機能の医療と連携し早期発見・早期支援等につなげる (伊勢病院小児発達支援外来の設置、市内小児科病院、各児童精神科との連携促進) 等

### 【発達支援センター化について】

今後の段階的整備について、以下の方向性が必要と考える。

- ・発達支援室の準備：

上記機能を有する発達支援室の立ち上げ目指し、現在から出来ることに着手することで、発達支援室のスタートがスムーズにさせることが重要。

また、外部の有識者・スーパーバイザー等を活用し、発達支援室・発達支援センターについて必要な検討がされることが有効である。

- ・発達支援室の運用：

立ち上げ後は、上記各機能を実施

- ・発達支援センター化：

上記発達支援室にて、発達支援センター化へのあり方を関係機関や市民と十分に検討しながら整備計画等を作成し、必要な機能が集約された発達支援センターを目指していくことが必要。

※ 上記各段階および定期的に、各関係機関や市民等との意見交換等にて地域にとって必要な機能を分析しながら、必要な機能を担うための柔軟な機能・人員・業務等の変更を図ることが重要である。

こどもチームとしては、以上の提案をまとめたことにより、今年度の活動の一旦の区切りとすることを確認しました。